

# 寅さん歩 その 15

## 江戸・東京(23区)の百名山-1

平野 武宏



平成 28 年 (2016 年) から国民の祝日「山の日」が 8 月 11 日に実施されます。深田久弥が提唱した「日本百名山」は山男や山ガールの入門書や目標となり、昔の友人もはまっていたが、山の上りがあまり好きでない、寅次郎は興味を示さず、ウォーキングの世界に目標を求めました。

最近、NHKBS 放映「グレートトラバース-2」で「日本百名山」を踏破後、「日本二百名山」を一筆書きで、交通機関を使わず、すべての行程を、自分の足のみで完全踏破しているプロアドベンチャーレーサー田中陽希の姿を知りました。

2012 年に東京に移り住み、都内を歩き回っている寅次郎、図書館で「江戸・東京百名山に行く(手島宗太郎著)」を見つけ、アイデアをいただきました。著者が決めた百名山は今や現存しない山や築山・富士塚も含まれますが、最高峰は新宿区にある箱根山(44.6m)と知り、いくつかは既に訪れていますが、国民の祝日「山の日」実施を記念して、全踏破に挑戦したい意欲が湧きました。自分の足のみなどと言わずに、東京都シルバーパスも有効に活用し、楽しみながら踏破する「寅さん歩」の新シリーズとします。位置関係が分かるように、数が多い区順に歩きます。一番多いのは品川区で 14 山あり、2 回に分けます。丸数字は踏破した数の累計です。最寄り駅は代表例です。都営線はシルバーパス利用可です。

### [品川区-1]

#### ① 池田山

東五反田 5 丁目一帯 最寄駅 山手線/都営浅草線 五反田駅

この山の名を知ったのは昭和 33 年(1958 年)11 月 27 日、当時の皇太子さま(現天皇陛下)のご成婚内定のニュースでした。お相手の正田美智子さま(現皇后陛下)のお住まいが五反田の「池田山」にありました。

五反田駅東口の桜田通りと花房山通りに挟まれた左手高台の池田山

一帯は備前藩主 池田家下屋敷があった所です。花房山通りを行き、  
右手の五反田公園桜並木の坂(写真下左)を上りました。



上りきり平坦の所に「正田邸跡地」に造られた区立庭園「ねむの木の庭」(写真上右)があります。この辺りが池田山の頂上のようなようです。庭園を背に高級住宅や大使館が立ち並ぶ、約 400m先に当時の姿の一部が残された「池田山公園」があります。池田家下屋敷はここまでであったようです。急坂(写真下左)の右側の石垣が池田山公園敷地、下り切った所が公園正門(写真下右)で園内は頂上まで上ります。標高約 29mとのことでした。



頂上の東屋から下の池をのぞく  
「のぞき池方式」の大名庭園です。



紅葉の名所です。寅さん歩その12 東京の紅葉・黄葉-3を参照ください。

## ② 島津山

東五反田3丁目一帯 最寄駅 山手線/都営浅草線 五反田駅

島津山は五反田駅東口から桜田通りを上る右手の高台で、陸奥仙台藩 伊達陸奥守下屋敷で、明治維新後、旧鹿兒島藩主 島津公爵屋敷となったため、「島津山」と呼ばれているとのこと。桜田通りを上ると右側の「本立寺」辺り(写真下左は入口、右は本堂)が島津山の一番高い場所のようです。



島津山には昭和37年(1962年)清泉女子大学(写真下左)が移転してきました。構内には大正6年(1917年)コンドル氏設計の旧島津公爵邸(清泉女子大学本館)がありますが非公開でした。入口の説明板を見ると線で囲まれた陸奥仙台藩伊達家下屋敷の敷地は東五反田3丁目のほとんどで約2万3千坪あったとのこと。



## ③ 花房山

上大崎3丁目10辺り 最寄駅 山手線/都営三田線 目黒駅

目黒駅から山手線に沿って五反田駅方面に向かう花房山通りを下って行くと左手の電柱に上大崎3丁目10の表示がある坂を上った辺りが「花房山」です。頂上は住宅地に変身して、山の面影はありませんでした。



写真左の石垣の上が花房山です。右側下の谷には山手線が走っています。

写真下左は頂上への上りの坂を上から撮影しています。

写真下右は坂を上りきった頂上らしき場所です。



#### ④ 夕日山

上大崎4丁目ドレメ通り 最寄駅 山手線/都営三田線 目黒駅

目黒駅の住所は品川区上大崎です。住民の反対で行人坂を下りた目黒川から約25mも上の高台に目黒駅が設置されました。駅から行人坂手前を左折する道がドレメ通りで、杉野ドレメ発祥の地です。町内会掲示板に「夕陽会」、杉野服装学園の案内板内（写真下左）の建物名が「夕陽ヶ丘」と記載してあるので、この辺りが「夕日山」のようです。

山手線沿いの急坂（写真下右）を下ると目黒川に突き当たります。目黒川は桜の名所で、春には大勢の人で賑わう場所です。



## ⑤ かむろ山

西五反田5丁目13、14 攻玉社学園一帯  
最寄駅 東急目黒線 不動前駅

目黒不動入口の「不動前駅」脇の坂道を上ると、「攻玉社学園」(写真下右)がありました。この辺りが「かむろ山」とのこと。江戸時代に辻斬り強盗を重ね、鈴ヶ森で処刑された白井権八を悲しんで自害した権八相愛の遊女小紫。小紫を探しに来たお付きの禿(かむろ)が帰り道で、ならず者に襲われ、逃げ場を失い、桐ヶ谷の二ツ池に身を投げたと伝わります。これを憐れんだ、近くの人が亡きがらを池の傍の丘に葬り、一帯を「かむろ山」、これに通じる坂を「かむろ坂」(写真下左)と呼ぶようになったとのこと。攻玉社とは江戸時代末期に教育家 近藤真琴が創始の蘭学塾(攻玉塾)で慶応義塾と並び称された日本三大義塾のひとつ、戦前は海軍兵学校の予備校的存在、今は中高一貫校と知りました。



## ⑥ 金子山

西大井 4 丁目 20 東芝会館 一帯

最寄駅 京浜東北線 大森駅/都営浅草線 馬込駅

西大井の名に騙されました。品川区のはずれで、道を隔て、隣は大田区山王 1 丁目でした。大森駅のほうが近いのに、横須賀線西大井駅から歩いてしまいました。それも西大井 4 丁目と大井 4 丁目を間違え、更に東芝会館は東芝病院の近くと早とちりして、散々でした。早とちりや先入観での行動は寅次郎の直すべき課題です。わかっちゃいるけど、直らない！

大森駅から山王口を左折、ジャーマン通りから「尾崎士郎記念館」、「徳富蘇峰公園（山王草堂記念館）」内の大田区を抜けて出た、西大井本通りの坂(写真下左)を上ると左側が「東芝会館」(写真下右)の敷地で、この辺りが「金子山」とのこと。名の由来はその昔、金子左近という長者が城館を築き住んでいたと学びました。東芝会館は昭和 16 年(1941 年)建築の和風住宅で元日本コロンビア社長邸宅を昭和 28 年(1953 年)東芝が譲渡。敷地内には金子左近の城館跡も含むとのこと。



写真上は東芝会館入口です。

写真左は西大井本通り。

西大井本通りの黄線の右側が大田区山王で徳富蘇峰公園、左側が品川区西大井です。西大井本通りの坂を下り、環七通りに出て右折・直進すると都営浅草線 馬込駅がありました。

品川区の 6 山を踏破しましたが、アイデアを頂いた手島さんの著書は文章だけで写真の掲載がありません。住所だけが頼りの目に見えない目的地や高台の上り口の確認、高低差が分かる場所の

撮影と今までの「寅さん歩」と勝手に違います。でも近くを知らずに通り過ぎていた場所から、多くのことが学べました。

## 【こぼれ話-1】 山の日

平成 26 年（2014 年）に制定、平成 28 年（2016 年）8 月 11 日から実施の「国民の祝日」です。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝すること」を趣旨に山岳団体などが要請しました。

当初は国民の祝日の無い 6 月、7 月の「海の日」の翌日、8 月のお盆前などの案から 8 月 12 日が有力だったそうです。

でも 8 月 12 日は日航機墜落事故の日、祝日とするには違和感があるとして 8 月 11 日になったそうです。

「海の日」は明治天皇が東北地方巡幸で横浜港に帰着した 7 月 20 日と定めた「海の記念日」を国民の祝日「海の日」として「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国家日本の繁栄を願うこと」を趣旨に平成 7 年（1995 年）制定、平成 8 年（1996 年）から実施されました。平成 15 年（2003 年）祝日改正法（ハッピーマンデーとして連休増）で 7 月の第 3 月曜日に変更されました。

## 【こぼれ話-2】 日本の〇〇名山

昭和 39 年（1964 年）初版の深田久弥の山岳随筆「日本百名山」は文筆家で登山家の本人が実際に登頂した日本の山から自身の定めた基準で 100 座を選び主題とした随筆集で、第 16 回読売文学賞を受賞。深田久弥の基準は 1. 山の品格、2. 山の歴史、3. 個性のある山で原則標高 1,500m 以上、本人の登頂が絶対基準とのこと。登山入門書となり、山ブームの火付け役にもなりました。

「日本二百名山」は深田久弥のファンクラブ組織「深田クラブ」の創立 10 周年記念の昭和 59 年（1984 年）に深田久弥 100 座に 100 座を加えています。

「日本三百名山」は日本山岳会の雑誌「山日記」編集メンバーにより、昭和 53 年（1978 年）選定された 200 座に深田久弥の 100 座を加えています。又、中高年が登りやすい山を加味した登山家 岩崎元原著「新日本百名山」や山の花を中心とした田中澄江著「花の百名山」などの関連本があります。

次回は江戸・東京（23 区）の百名山-2 です。

平野 寅次郎 拝